

研究教育業績（過去 5 年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 竹安結花子、高城徳子、土田和徳、安西和紀、リポソーム膜の脂質過酸化における Fe^{2+} を含むいくつかの酸化剤の作用機構の違い、日本薬学会第 137 年会、3 月、仙台(2017)
- 2) 高城徳子、岩瀬弘大、栗原義暢、土田和徳、安西和紀、ESR を用いた一重項酸素測定法の検討、日本薬学会第 137 年会、3 月、仙台(2017)
- 3) 土田和徳、青木珠美、小清水里子、高屋鈴奈、高城徳子、安西和紀、水への大気圧低温プラズマ照射による活性酸素種生成に関する基礎的検討、日本薬学会第 137 年会、3 月、仙台(2017)
- 4) 阿部真也、福岡隆元、田口貴将、高城徳子、土田和徳、窪田洋子、安西和紀、フェントン反応によるヒドロキシラジカル発生系における鉄イオンの影響、日本薬学会第 135 年会、3 月、神戸(2015)
- 5) 高城徳子、三宅大輔、土田和徳、窪田洋子、安西和紀、TEMED(2,6,6,6-tetramethyl-4-piperidone) を用いた一重項酸素の測定、日本薬学会第 135 年会、3 月、神戸(2015)
- 6) 高城徳子、田口貴将、福岡隆元、楊新玲、張淑貞、土田和徳、窪田洋子、安西和紀、抗酸化評価のためのスピントラップ法における Fenton 反応の検討 第 52 回電子サイエンス学会年会(SEST2013)、10 月、さいたま市 (2013)

3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 安西和紀、土田和徳、高城徳子、関根絵美子、上野恵美、細井義夫、抗酸化化合物の放射線防護作用に関する研究、平成 24 年協同利用・協同研究成果報告書(広島大学原爆放射線医科学研究所)、10、(2014)

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2017 年度

基礎薬学物理(1 年)

薬学物理(1 年)

エネルギーと平衡(2 年)

物理・分析科学実習(2 年)

薬学総合演習 IA(4 年) 2 コマ

薬学総合演習 II(6 年) 2 コマ

基礎薬学特論(1 年) 1 コマ

実務実習プレ教育(4 年) 9 コマ

2016 年度

エネルギーと平衡(2 年)

物理・分析化学実習(2年)
生物化学実習(2年) 4コマ
薬学総合演習 IA(4年) 2コマ
薬学総合演習 II(6年) 2コマ
薬学特論 I(1年) 1コマ
実務実習プレ教育(4年) 3コマ x 1日
薬学体験学習(1年) 3コマ x 2日

2015年度

理論化学Ⅱ(2年)
化学・物理系実習Ⅱ(2年)
生物系実習(2年)
薬剤師の使命(1年)
薬学総合演習 IA(4年) 1コマ
薬学総合演習 IB(4年) 1コマ
薬学総合演習 II(6年) 2コマ
実務実習プレ教育(4年) 3コマ x 3日
生物の基礎 2コマ(遠隔授業チューター)

2014年度

生化学Ⅰ(1年)
化学・物理系実習Ⅱ(2年)
生物系実習(2年)
薬学総合演習 IA(4年) 1コマ
薬学総合演習 II(6年) 2コマ
実務実習プレ教育(4年) 3コマ x 4日
生物の基礎 3コマ(遠隔授業チューター)

2013年度

生化学Ⅰ(1年)
化学・物理系実習Ⅱ(2年)
生物系実習(2年)
薬学総合演習 IA(4年) 1コマ
薬学総合演習 IB(4年) 1コマ
薬学総合演習 II(6年) 1コマ
実務実習プレ教育(4年) 3コマ x 6日

2. その他特筆すべき教育業績